

373 ワイド

タウン

唐湊新聞

徳島県新聞協会の会報

Eメール town@373news.com
ファックス 099(813)5174
郵便 7890-8403(佐藤下妻)

100年続く鹿大果樹園

100年続く鹿大果樹園

唐湊橋から田上台へと抜ける「舊道」を上がると、山あいを縫うように広がる果樹園が見えてくる。県内に4カ所ある徳島大学農学部付属農場の一つ、唐湊果樹園だ。開園は1916(大正5)年というから1世紀近い歴史を持つ。

8.22の敷地で栽培されているのは、かんきつ類を中心にカキ、ビワ、ウメ、ブルーベリー、マンゴーなど。川口昭二さん(55)ら3人の技術職員が管理、週2回の学生実習を指導する。「収穫後は学生に食べさせ、作業を育てる喜びを実感してもらおう」(川口さん)という。

97年から毎月第1、3水曜日に収穫物の販売会を開始。写真。田上台から訪れる常連客の一人、香川友子さん(57)は「新鮮で味が濃く、おいしい」と太鼓判を押す。地域に届け込んだ農場は、唐湊地区の隠れた「果樹園さん」でもあるようだ。



桜島望む*最期の地、

桜島を望む傾斜地に整然と並ぶ7000基の墓石。平日でも墓参に訪れる市民が絶えない唐湊墓地一写真。一は、8番目の徳島市営墓地として1906年に設けられた。10万平方メートルの敷地は市内最大。88年までは火葬場も併設されており、多くの市民の「静寂」を見守ってきた。



傾斜のきつい立地は高齢者には大変だ。車を乗り入れようにも道路は狭く、決して便利とはいえない。それでも桜島を一望できる魅力から「18ある市営墓地の中でも安定した人気

新川と共に生きる

豊かな坂道が多い徳島県市の唐湊地区。下から地上げると、空気がかき、寂寥感が漂う。同市中心部を流れる新川中流、下流の街の歴史は、川の歴史と歩調を揃わせた。

唐湊という地名を初めて知って、「かみなり」と思ってしまった。もともと川が流れていない。川(田中)の川が流れていた。川(田中)の川が流れていた。川(田中)の川が流れていた。



唐湊地区の新川中流、下流の街の歴史は、川の歴史と歩調を揃わせた。

恵みと水害もたらす流れ

新川は、昔から徳島に恵みをもたらす流れ。新川は、昔から徳島に恵みをもたらす流れ。新川は、昔から徳島に恵みをもたらす流れ。



改修やダム治水続く

川は衣服を洗濯し、野菜を洗う生活の場でもあった。自然環境も潤った。川は衣服を洗濯し、野菜を洗う生活の場でもあった。自然環境も潤った。

新川は、昔から徳島に恵みをもたらす流れ。新川は、昔から徳島に恵みをもたらす流れ。新川は、昔から徳島に恵みをもたらす流れ。

新川は、昔から徳島に恵みをもたらす流れ。新川は、昔から徳島に恵みをもたらす流れ。新川は、昔から徳島に恵みをもたらす流れ。

街のかがや

唐湊幼稚園 園長代理 福留 正人さん(60) 鹿兒島市唐湊4丁目

鹿兒島市唐湊4丁目

鹿兒島市唐湊4丁目

地域へ響く音楽の園

代、全国中学校教育研究 音楽委員のユウキニ、ほとんどの園児が音楽部会に所属している。音楽部会を率いる福留正人さん、園長の幸島美津子さん、園長の幸島美津子さん、園長の幸島美津子さん。



園児たちは音楽の園で育ち、地域に響く音楽の園。園児たちは音楽の園で育ち、地域に響く音楽の園。